

今回号では、各町内（集落）支援助成金を活用して取り組みが行われた事業の一部を紹介します。今回は「左義長」です。

【記事や写真は各区長さんにご提供いただいたものを掲載しています】



(パートナー)のロゴマーク
市民協働のまちづくり

【瀬波上町】

平成29年1月15日(日)、小正月の伝統左義長は町内壮年会が町内より委託されていて、大雪にも関わらず実施しました。



当日は小学生がお札やしめ縄を集めに各家庭を訪問し、老人会男性はだんご木飾り、女性は飾るだんご作り、そして壮年会は左義長の竹取りから始まり、やぐら作りと午前中に完了し、昼には餅つきをし、公民館で参加者全員できなこ餅を食べました。小学生からお年寄りまで一日を楽しく過ごせ、また一步町内の団結が強くなったと思います。若連中も積極的に参加して下さったのはありがたい事でした。(参加者は約50人)



【下渡(平成29年1月15日(日)開催)】

午前8時30分 準備 地区全戸による
午後1時00分 点火 消防本部に届出済。消防団員立会 午後4時00分 消火

【事業成果】寒波襲来により風が強点火時に少々危険を感じたが、よく燃え上がり、今年1年地区住民の無病息災を祈願する事ができた。

【今後の方向】寒波のせいか参加者が思ったより少なかった。これからも伝統ある行事を継続していかねばならない。



【羽下ヶ淵(平成29年1月15日(日)開催)】

【事業内容】毎年、小正月の行事として1月の第2日曜を目途に実施。区と育成会が主体となり実施し、左義長作りの材料となるワラ・豆木などは各家庭から持ち寄り。杉の木の枝などは区と育成会で事前に用意しておく。主材料となる大竹・大杭などは、その年の歳祝いや厄年の人に育成会から依頼して寄付してもらう。組み立ては区の役員と育成会が中心で作る。午後3時に今年歳祝いの人が点火し、左義長の火で餅やすめるめなどを炙り、無病息災を願った。



【参加人数】組み立て約15名、左義長参加者約40名

【事業の成果】簡略化されてきてはいるものの、伝統行事を実施する事で1年の節目の大切さを感じる。歳祝い、厄払いに当たっている人は、左義長に主要な材料を提供することで、みんなに厄を払ってもらう事ができる。世代間の交流ができる。

【今後の方向性】以前は子どもが中心の行事だが、今後も現在の形を維持していきたい。

【瀬波新田町(平成29年1月22日(日)開催)】

町内の皆様の安全・平安を祈り、古い札やしめ縄飾りを焼いてお願いする行事で、当日朝早くより町内を小中学生が廻りお札等を集めてきます。大人達は竹を取ったりして高さ約10mの大きな左義長を作ります。作製終了後は公民館で懇親会をやり、夕方その左義長に点火をして、町内の皆さんが集まり餅やすめるめを焼いたり、子供達にはみかんやお菓子を配り、各個人で健康や交通安全を祈りながら4時半頃まで過しました。



【瀬波中町(平成29年1月9日(月・祝)開催)】

【事業内容】左義長当日は雨模様であったが、前日に小竹の伐採や使用器具等を田圃の設営場所へ搬入しておいたために、当日の作業はこれまでに無く段取り良く運び11時頃には完成した。この間、子供たちは各家庭から古いお札等の集めを行った。また「えびす会」の女性有志の方々の協力を得て豚汁やたこ焼きなどを準備してもらった。昼食はこれらを頂きながら6年生には「今年の抱負」などを述べてもらうなど、町内世代間を超えた各層の人達との和気藹々の楽しい交流の場となった。この会は13時50分頃終了した。その後左義長設営場所に移動し、町民の安全と健康・五穀豊穰を祈願する神事を執り行い、続いて年男・年女がお焚き上げの点火を行った。お焚き上げの途中から参加者それぞれが準備した餅やスルメを焼いて食べ、無病息災を願った。天候の影響もあり参加者は昨年よりも若干少なかった。交流会では45名程の参加があった。

【事業の成果】子供たちには伝統的な地域の民俗行事を学ぶ良い機会となった。参加した老若男女相互の交流と親睦を図ることができた。特に若い世代が交流の場を盛り上げてくれた。

【今後の方向性】今年の事前準備が良かったことから、今後も事前準備の段取りを充実させて取り組む。特に左義長本体の組立てサイズ決め等の段取りマニュアルなどの作成も検討し、伝統行事の若い世代への継承を併せて進める。また世代間交流(絆を深める中町力の向上)や防災訓練の場(炊き出し訓練)としても意識して各世帯へ声掛けをして参加者を募るように進める。



【滝の前(平成29年1月8日(日)開催)】

年々人の参加が少なくなり、今後少しでも多くの人に参加してもらえ工夫をしたいと思います。



【浜新田(平成29年1月15日(日)開催)】

子供会が主体となって行う事業。子供たちが、午前中、家々を松飾り、お札等を集めて回り、父兄が手伝って左義長を作り、夕方に火をつける。地区の消防団がその消火にあたる。昔から小正月に行なう伝統行事であり、今後も続けていきたい。



勤労青少年ホーム館長から退任のごあいさつ

平成22年の着任からあっという間に7年余りの月日が過ぎてしまいました。瀬波地区の皆様方には平素よりお世話になり、誠にありがとうございます。お蔭様で勤労青少年ホームは常時多くの方々にご利用いただいておりますので、お顔見知りの方も増え、仲良くさせていただきました。特に、秋の『お茶の子祭・文化祭』の折には、予想以上のご来場者の数に嬉しい悲鳴をあげながら、ここ数年は瀬波まち協の役員・委員の方々とは協働して開催してまいりました。また、暮れの大掃除には、各団体が快く割り当て箇所をきれいにしてくださいました。いつも利用者の方々の活発な活動に触れて元気をもらうことも多く、ここにお勤めできたことを幸せに思っています。至らぬところも多々ありましたが、皆様方や常駐の職員に助けていただき、無事に退職の日を迎えることができました。お心遣いに心より感謝申し上げます。今後も、当館を利用して楽しい活動をたくさんしていただきながら、安全な運営、施設維持にご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

最後に、瀬波地区まちづくり協議会の益々のご発展を祈念して退任の挨拶といたします。

加藤 雅代

*平成29年2月28日をもちまして退職されました。今後のご活躍をお祈りします。

協議会事務局：村上市瀬波上町4番1号(青少年ホーム内) 担当：高橋(村上市自治振興課瀬波地域担当)
【TEL】53-2005 【FAX】53-5557(電話・FAXとも青少年ホーム兼用)
【URL】<http://www.senami-machikyo.net> 【メール】info@senami-machikyo.net